

平成28年「台風10号災害」への対応

大型で強い勢力の台風第10号は、8月30日(火)18時前に岩手県大船渡市付近に上陸した後、岩手県内を北上し、記録的な雨量を観測、県沿岸北部を中心に甚大な被害をもたらしました。

日赤岩手県支部では、被害の多かった岩泉町内から自衛隊や緊急消防援助隊等による傷病者のヘリでの搬送先となる矢巾町の県消防学校に、31日(水)10時40分に盛岡赤十字病院救護班3班を派遣し広域搬送拠点臨時医療施設(SCU)を設置、傷病者の受入、トリアージ(症状等により選別)を実施し、後方搬送先の病院等に搬送しました。このSCUでの活動は9月2日(金)まで継続され、ヘリでの搬送傷病者は延べ167名、このうち25名が盛岡赤十字病院に受け入れられました。

また、被災市町の要請により、緊急救援物資として毛布

2,700枚、緊急セット1,218個、バスタオル1,690枚、避難所用敷きマット470枚、パーテーション184個を被災地へお届けしました。

救援物資については、今回、日赤岩手県支部での備蓄以上の要請がありましたが、東北各県の日赤支部から、次の災害への備えとして毛布及び緊急セットを調整いただき備蓄、現在では今回の台風災害以前と同数を備えています。

こういった救援物資は、皆さまからお寄せいただく赤十字活動資金によって整備され、災害時には被災者に届けられます。また、ただちに現地へと駆けつける医療救護班の活動にも活用されます。私たち赤十字がさまざまな活動を即座に、継続的に行うためには、皆さまからの寄付が必要です。今後とも赤十字活動資金へのご協力をよろしくお願いいたします。



平成29年度から**社員制度が変わります。**
大きく2つの点が変わります。

① 名称を変更します。

社員 ▶ 会員
社費 ▶ 会費
社資 ▶ 活動資金

② 納入額によって会員・協力会員となります。

納入額 2,000円以上 ▶ 会員
納入額 500円以上 2,000円未満 ▶ 協力会員

※活動資金の収納については、現行の方法から変更となる点はございません。引き続きご協力くださいますようお願い申し上げます。

NHK 海外たすけあいキャンペーン

2016
「NHK海外たすけあい」
募金へのご協力をお願いします

キャンペーン期間

平成28年12月1日(木)から12月25日(日)まで

受付場所

- 取扱い標示のある金融機関 ● JA(農協) ● JF(漁協)
- NHK盛岡放送局 ● 市町村日赤担当窓口
- 日本赤十字社岩手県支部および赤十字関連施設

受付方法


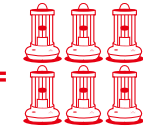
上記受付場所、現金で受付しています。金融機関からお振込みいただく場合は、上記受付窓口に「振込用紙(振込手数料無料)」が設置されていますので、ご確認のうえご利用ください。ご不明な点がございましたら、お手続き前に日赤岩手県支部までご連絡ください。

キャンペーンの詳細は特設WEBサイトへ **日赤 海外たすけあい** 検索

「海外たすけあい」とは

いま世界では1億3,000万人もの人びとが、紛争や自然災害、飢餓、病気などで、命の危機に直面しています。「NHK海外たすけあい」は、こうした人びとを救うため、日本赤十字社が毎年NHKと共同で実施しているキャンペーンです。これまでに、世界155カ国に支援をしてきました。

あなたの支援でこんなことが実現します

500円 =  赤ちゃん用おむつ50枚	1,000円 =  コート1枚
10,000円 =  食料5人家族2カ月分	30,000円 =  ストープ6家族分

赤十字の支援の特徴

直接支援します

「苦しんでいる人を救いたい」という共通理念を持つ、世界190の国と地域にある赤十字社のネットワークを利用して、支援が直接届けられます。

地域に根ざした継続的な支援をします

地域に根ざして活動しているからこそ、いち早く必要な支援を届けることができ、かつ継続して支援することができます。

あらゆる地域に支援を届けます

各国に赤十字社があり、中立の立場で活動しているからこそ、国際社会の支援が届きにくい地域にも支援を届けることができます。

いただいた寄付は「3つ」の支援へ

紛争で家を追われた人びとに、生きる力を。
「紛争」で苦しむ人びとへの支援



©IFRC

災害に備え、被害を軽減するために。
「災害」で苦しむ人びとへの支援



©IFRC

当たり前ではない医療環境で、小さな命を守る。
「病気」で苦しむ人びとへの支援



©IFRC

「人間を救うのは、人間だ。」

人の痛みや苦しみ、いのちの重みは世界中かわりません。人ごとではなく、自分ごととして、今皆さんに考えていただきたい世界の現状。あなたには誰かの人生を変えるチカラがあります。赤十字のネットワークを通して、彼らの今、そして将来をサポートしてください。

現在、皆さまにご協力をお願いしている義援金・海外救援金

義援金

日本赤十字社にお寄せいただいた「義援金」は、被災地に設置される義援金配分委員会に全額送金され、同委員会が定める配分基準に従って被災者へ届けられます。義援金が国や自治体が行う復旧事業や、日赤の災害救護活動・被災者支援活動などに使われることは、一切ありません。

義援金名	受付期日
東日本大震災義援金	平成29年3月31日(金)まで
平成28年熊本地震災害義援金	
岩手県台風10号大雨等災害義援金	
平成28年鳥取県中部地震災害義援金	

(平成28年11月22日現在)

海外救援金

世界各國の赤十字社・赤新月社を通じて被災国の赤十字社に寄せられる「海外救援金」は、被災国の赤十字社が行う被災者支援活動に役立てられます。

救援金名	受付期日
中東人道危機救援金	平成29年3月31日(金)まで
2016年ハイチハリケーン救援金	平成28年12月31日(土)まで

(平成28年11月22日現在)

赤十字いわて

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

遠足用のビニールシートを敷いて、 気分ルンルン「4杯も食べたよ〜！」

山田町立船越小学校で山田アマチュア無線ネット赤十字奉仕団による「赤十字ふれあい給食会」が開催されました。



【東日本大震災復興支援事業】サマーキャンプ 2016 in いわて
▶7月27日(水)～7月29日(金) 国立岩手山青少年交流の家

今年で3回目となるサマーキャンプ。今回は、沿岸被災地の小学生27名を招待し、JRCリーダーシップ・トレーニング・センターに参加のJRC加盟校の小中高校生76名と交流しました。子どもたちは3日間の集団生活の中で、「気づき・考え・実行する」力を培い自主性・自律の生活について学びを深めるとともに、日常を離れた自然の中で体を動かし、のびやかに過ごしました。



完成！私たちの赤十字マーク！

新しい友達の前での自己紹介、交流の家での生活ルールの確認で初めは緊張の面持ちでしたが、食事になると「どの学校？名前？」と積極的に声をかけ、またアイスブレイキングのゲームになると弾むような声があちらこちらで聞こえ、すっかりいつもの笑顔に戻っている様子でした。2日目には健康安全プログラムの中で三角巾の使い方を学んだり、出題される問題をみんなで協力しながらゴールを目指すフィールドワークを行ったりして、仲間との友情も深まったようです。3日目は学校ごとに活動報告をまとめ、また個人での振り返りとして感想文を書きました。一人ひとりの学びが、これからの学校生活の中でどう実践されていくのか、とても楽しみです。良きリーダーとしてみんなを引っ張り、成長し続けて欲しいと願っています。

【東日本大震災復興支援事業】盛岡赤十字病院職場体験

▶8月9日(火) 盛岡赤十字病院

将来、医療従事者を志す沿岸被災地の中高生を盛岡赤十字病院に招き、医師・看護師・臨床工学技士・理学療法士・薬剤師・診療放射線技師・臨床検査技師の7部門から希望する仕事を体験してもらいました。今年で4回目になり、宮古市・山田町・大槌町・釜石市・大船渡市・陸前高田市などから90名が参加しました。



新しい命の温もりが全身に伝わります

メスで鶏肉を切るなど本番さながらの手術体験、調剤、新生児への哺乳等々を行いました。入院患者さんに接する場面では、手を握って自らの言葉で声をかけたりしながら、患者さんに寄り添って看護する医療従事者としての気持ちも知ることができたようです。参加した学生からは、「普段できないことを体験できた」「やりがいや苦勞を知ることができた」といった感激にあふれた感想が聞かれました。これからも志を強く持ち努力を重ね、ぜひ皆さんの夢を実現していただきたいです。

DIGってなあに!? 日本赤十字社災害図上訓練を実施

▶9月2日(金) いわて県民情報交流センター(アイーナ)

岩手日報140周年記念事業「東日本大震災5年いわて防災・減災フォーラム」が開催されたこの日、防災・減災に関する様々な展示ブースやシンポジウムが催されました。日本赤十字社岩手県支部では、防災・減災をテーマに災害図上訓練(DIG)を実施しました。DIGとはDisaster Imagination Gameの頭文字3つをつなげた言葉です。文字どおり「災害」を「想像(力)」する「ゲーム」の意味で、ゲーム感覚で防災・減災を考えようというものです。地域の地図を用いて地図上に道路や鉄道、河川や建物などを色分けし、役所や医療機関などの防災機関等を示すカラーシールの張り付けなどを行い、最終的には、災害発生時に地域で実際に起こり得る被害や人の動きなどを想像し、被害を最小限にするための思考を巡らせるためのものです。町内会や自治会単位での実施が基本となります。今回は、盛岡駅周辺に住んでいるという想定で一般の参加希望者がプレーヤーとなりました。この災害図上訓練は、地域の皆さんで防災・減災を考える良いきっかけにもなります。防災・減災の意識、備えの大切さを皆さんに広め、災害に強い地域づくりを目指していきましょう。



地域の特徴を知るための色分け作業

その他活動の様子は、随時「日赤岩手県支部ホームページ」に掲載しています。ぜひご覧ください！

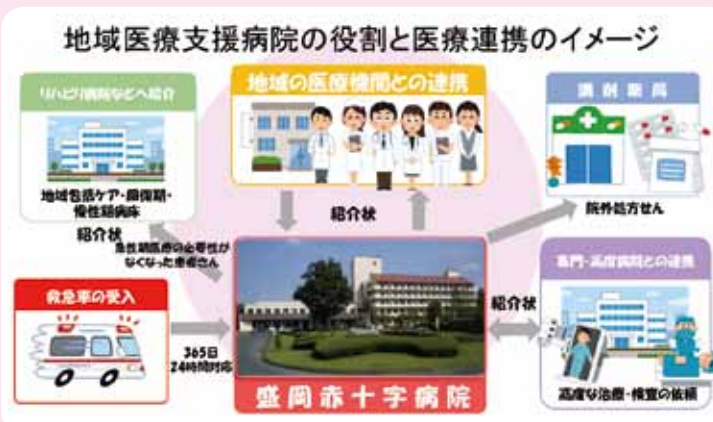
日赤岩手県支部

検索

盛岡赤十字病院

なにかあった時の赤十字
地域医療支援病院とは？

当院は地域の総合病院として急性期(救急・入院)医療に重点的に従事しております。国の政策で地域の開業医(かかりつけ医)は普段の体調管理を、大きな病院は命に関わる救急や手術を含めた入院治療を、と医療の役割分担を進めています。この度、当院は岩手県に『地域医療支援病院』としての認定をいただきました。これは関係各機関と適切な連携をし、医療を提供していることのお墨付きをいただいたものです。皆さんは具合が悪くなったらまずどの医療機関を受診しますか?大きな病院は開業医からの重症な紹介患者で一杯です。1日に受診できる数も限られているので、どうしても待ち時間に対して診療時間は短くなってしまいます。当院は地域と密接に連携している認定をいただきましたので、どうぞ安心してかかりつけ医に受診して必要な時に当院にお越しください。今後も「なにかあった時の赤十字」として救急・災害時の対応を含め、地域に求められる病院を目指していききたいと思います。



岩手県赤十字血液センター

複数回献血クラブ会員募集中!

複数回献血クラブとは、輸血を必要とする患者さんに安全な血液を安定的にお届けするため、1年間に複数回(2回以上)献血にご協力いただける方に、メールでご協力をお願いすることを目的として運営しているサイトです。

ご登録いただくと、お近くの献血会場をお知らせするメールが届くだけでなく、直近5回分の血液検査結果をグラフで携帯・パソコンからいつでも確認できたり、会員サイトから成分献血の予約をしたりすることができます。また、会員の方限定の献血カードに変更できる特典もあります。

登録は、携帯・パソコンから簡単にできます。QRコードを読み取り空メールを送信するか、インターネットで「複数回献血クラブ」と検索してみてください。皆さんに有益な情報を提供する「複数回献血クラブ」に、ぜひご登録ください。



複数回献血クラブ

検索



施設 TOPICS

日赤岩手乳児院

楽しかったね 運動会!

去る10月8日(土)、乳児院のチェスキーナホールにて運動会が行われました。ちょっぴり緊張気味の子どもたちでしたが、保護者の皆様とボランティアの方々のたくさんの応援の中で、精一杯かけっこしたり、お遊戯したりとかわいくてたくましい姿を見ることが出来ました。子どもたちの頑張る姿は、どれも金メダルをあげたいくらいです。



運動会での経験は、多くのお客さんに見てもら嬉しさや達成感、満足感を味わい、大きな自信につながったことでしょう。そんな子どもたちの成長を、これからも温かく見守っていきたいと思っています。

特別養護老人ホーム日赤鶯鳴荘

季節の移り変わりをを感じる食事を

特別養護老人ホーム日赤鶯鳴荘では、毎年10月に「鶯鳴荘まつり」を開催しています。今年は8日(土)に行いましたが、日赤磐石町赤十字奉仕団の皆さんをはじめ、たくさんの方々にご協力いただき大盛況に終わることができました。限定メニューとして、中華そば、天ぷらそば、焼きそば、カレーライス、照り焼き丼を用意し、利用者やご来場の皆さまに大変喜んでいただきました。

利用者には照り焼き丼が一番人気で、提供数を増やしながら対応をするほどでした。その他中華まんやロールケーキ、奉仕団の皆さんによる芋の子汁の炊き出し等、利用者は普段と違うお食事を存分に楽しんでいる様子でした。

日赤鶯鳴荘では、敬老会や運動会等、季節の行事に合わせて様々な行事食を提供しています。季節の移り変わりを利用者楽しんでもらうため、これからもまごころのこもった食事を提供していききたいと思います。

